

無料

2025年度 前期

たいし塾

開催場所：四天王寺大学

テーマ「中国の思想と仏教」

時間：13時30分～15時00分

聖徳太子が定められた十七條憲法には、仏教のみならず儒教や法家の思想といった中国の思想の影響が色濃く見受けられます。太子の思想を深く理解する意味においても、中国の古典やその思想を理解することは極めて重要なことと言えます。今回の講座では、そういった中国の思想や仏教の基礎理解、またその伝来にも焦点をあて、古典や歴史を紐解いて多面的に学んでみたいと思います。

6/7 土

講座No.

A

▶ 中国仏教と漢訳經典
—格義仏教とは何か—

社会学部 / 社会学科 / 学科長 藤谷 厚生 教授

感夢求法説によれば、後漢明帝のAD70年頃に仏教は中国に伝播しました。爾来、今日に至るまで仏教は中国の地に連綿と受け継がれています。この講座では、初期仏教が中国史の中で、どのように受容され展開をしたのかを、分かり易く学びます。

6/21 土

講座No.

B

▶ 儒教の成立と展開
—孔子とその門人、孟子—

文学部 / 日本学科 / 学部長 矢羽野 隆男 教授

原始以来の社会観念や儀礼をまとめて儒教の祖となった孔子（前551—479）とその弟子および孟子を取り上げ、儒家思想の核にある死生・倫理・政治（孝・忠恕・仁・義・誠・性）など、現代にも重要な思想を学びます。

7/5 土

講座No.

C

▶ 衝突と調和
—仏教伝来が引き起こした文化的対話—

文学部 / 国際コミュニケーション学科 李 美子 准教授

仏教の東アジア伝播は、衝突を経て調和に至る「文化変容」の典型的な例とも言えるでしょう。異質的な思想を受け入れつつ再解釈する柔軟性が、東アジアの多元的宗教観の基盤を築き、このプロセスは、現在のグローバル化時代における異文化接触のモデルとしても示唆的だろうと推測されます。

7/19 土

講座No.

D

▶ 新儒教の成立とその展開
—唐代から明代へ—

文学部 / 日本学科 / 学部長 矢羽野 隆男 教授

仏教や道教の影響をうけて宋代に成立した新たな儒教—朱子学。その大成者の朱熹（1130—1200）から陽明学への展開を概観し、江戸時代に各地の藩校で学ばれて多大な影響を与えた朱子学の思想内容を学びます。

8/23 土

講座No.

E

▶ 中国仏教の宗派と教相判釈
—唐代から明代へ—

社会学部 / 社会学科 / 学科長 藤谷 厚生 教授

中国仏教は盛唐の時代に最盛期を迎えます。そこには、教学中心の宗派仏教の成立と、各教義の優位性の議論の展開が見受けられます。特に唐代から明代にかけての変遷を中心に、その特徴をお話してみたいと思います。